



① 内山書店

歴史ある中国専門書店。取り扱っているのは、日本で出版された中国関係の書籍、DVD、CDなどが約4割。残りの6割は、中国・香港・台湾などから輸入された書籍、雑貨など。ジャンルは問わずあらゆるものを扱い、新刊がメイン。人気があるのは中国語を勉強する人のための教材。ここには中国の子供たちが実際に使っている教科書や参考書なども揃っている。研究者や学生委よりも、ビジネスマンやカルチャーセンターで中国語を習っている人が本を探しに来ることが多い。専門店ならではのと思わせるのは、中国の地方都市の地図も揃っていることだ。

03-3294-0671
千代田区神田神保町1-15



② 萬羽軒

平成14(2002)年オープンの「萬羽軒」は、古書画、硯・古筆などを扱う、まさに知る人ぞ知る店。店主の萬羽啓吾さんは良寛作品をはじめとする書の目利きとして知られている。良寛の書、平安・鎌倉の古筆切、いわゆる日本の美しい書を専門に取り扱う。端溪水巖(たんけいすいがん)の硯を中心に、古墨・石印材も多数取り揃えている。文人趣味と日本の美しい書に興味のある方は、ぜひ立ち寄りた店舗だ。

03-3295-7116
千代田区神田神保町1-27



③ 東陽堂書店

大正13年(1924)創業の「東陽堂書店」は、仏教、宗教、易、日本史、東洋史の学術研究書と古典籍を扱う。当初は他の古本屋と同じく、教科書や一般書などを売っていたが、二代目の頃から仏教書を中心に集めるようになった。現在では、日本でも有数の仏教書専門店となった。書棚には古本に混ざって新刊も並ぶ。宗派別に並べてあるのでとても探しやすい。平安末期の「神護寺経」のように千年の歳月を経た美しい巻物など、1000万円を超えるものも扱う。「お探しの本がありましたら、気軽にお声がけください」(店主)

03-3291-0078
千代田区神田神保町1-1



④ 蘭花堂

中国からの輸入美術書籍や、中国絵画、版画、書画、美術品などを取り扱う店。中国の文化や芸術を肌で感じることができる。市場での買い付けや一般からの買い取りも行うが、店主自ら直接海外に出向いて仕入れることも多い。美術品は、前漢(紀元前202年頃)の時代のものもある。来店するのは大学の先生や学生、中国古美術愛好家が多い。写真や図版の多い美術関係の書籍も数多く取り揃えているため、デザイナーも来店する。店内は、本屋を兼ね備えたギャラリーといった雰囲気、本棚には中国語の書籍だけでなく、日本語で書かれた本も並ぶ。

03-3294-3008
千代田区神田神保町1-46 斎藤ビル1階



⑤ 小林書房

東陽堂書店から独立した初代が昭和42(1967)年に開業した、仏教書専門の「小林書房」。仏教に関する書籍は、古本・新刊書から江戸時代以前の和本に至るまで、数多く取り揃えている。在庫書籍は「常に新しく」がお店のモットー。仏教書が専門のため、客層はお寺の住職や大学の先生など、専門的な方が多い。事務所営業だが、年3回発行のカタログと日々更新しているホームページで在庫の確認ができる。

03-3263-0776
千代田区神田神保町2-12 三宅ビル2F



⑥ 農業書センター

日本で唯一の農業所専門の書店、「農業書センター」。平成26年(2014)に大手町ビルから移転し、現在の場所へ。農業に関する書籍を約36000冊販売しており、一般書店では入手することの難しい専門書も扱っている。技術書、専門雑誌から料理本や園芸の本まで、店頭と並ぶ本は多岐に渡る。専門家でなくとも十分楽しめる店である一方、マニアックな本も多く、訪れる度に新たな発見がある。スタッフの方に声をかければ、本選びの相談にも快く応じてくれる。店へ続く階段はギャラリーになっていて、そちらもおすすめ。

03-6261-4760
千代田区神田神保町2-15-2 第1富士ビル3階



⑦ 村山書店

建築・理工系の書籍が多いが、心理・哲学・宗教・歴史・法律など人文系も揃う。コンディションのいい専門書をできるだけ安く提供する店で、発売からさして時間の経っていない新刊本もいち早く店頭と並ぶ。特に講談社学術文庫に関しては他の追随を許さないほど力を入れており、散り散りにならぬようまとめて引き取ることで在庫を支え、日本中の「探している人」の要望に応えている。それに加えてクラシック音楽やカメラ、ガイドブックなど趣味の本も豊富。店先には国内外の怪談・奇談小説などホラー関連の書籍が一箱程度並んでいることも。

03-3291-1617
千代田区神田神保町1-3



⑧ 田村書店

仏独文学を中心にヨーロッパの哲学・歴史・美術に関する書籍、洋書の稀覯書を扱う専門店。入口両脇には社社の千社札のように、全集の値札がこれでもかと言わんばかりに、数限りなく貼られている。扱う全集の数が多すぎて、実物はお店の人に頼んで出してもらわなければならないほど。1階には日本の近代文学や、西洋の古典を中心とした翻訳もの、哲学書やその研究書、2階には洋書が並ぶ。蒐集家には料理本(原書)、挿絵本、美麗装丁本が特に人気。店頭では日本一質が高いと言われる特価セールが行われ、いつも多くの人でにぎわっている。

03-3291-0563
千代田区神田神保町1-7



⑨ 慶文堂書店

図書館や博物館など公の機関をはじめとする専門家たちが、史料集めの際に頼る歴史の専門店。時代小説などを書く小説家や研究書の著者など、本を書く側の人が時代考証のための史料を求めて訪れることも多く、松本清張もその一人。老舗が並ぶ靖国通り沿いの中で、一見すると左右の古本屋に挟まれてすこし窮屈そうな小さな店だが、古書店を外見だけで判断してはならない。日本史・郷土史・東洋史を中心に宗教や美術、文学作品までもが書棚には並んでおり、さらに倉庫では店内の何十倍にもおよぶ書籍、価値の高い史料の数々が保管されている。

03-3292-0281
千代田区神田神保町1-1



⑩ 五萬堂書店

戦前の昭和10年代から昭和40年代の文系学術書を中心に取り扱い、一般では手に入らないもの、入りにくいものが本棚に並んでいる。来店するのは研究者が多い。この店の特徴は、歴史に関する絶版書を多く取り揃えているところ。氏名・姓名史、地名史、地方史などの本も充実している。氏名・姓名史の本が並べてある書棚には、自分の名前と歴史の関係を解明できそうな興味深い本が並ぶ。具体的にどのような本を探しているのか店主に相談すればたいい出してきてくれるが、不在の場合があるので来店の際はあらかじめ連絡したほうがよい。

03-5259-5765
千代田区神田神保町1-28 近藤ビル1階



⑪ 光和書房

中国の古典籍、和刻本、書道の関連書籍を扱う「光和書房」。事務所営業の店舗であったが、令和2(2020)年、駿河台下交差点前に店舗をオープン。気軽に触れることができる近代復刻、影印本、書影や、内容を理解するための解題資料も揃える。書道関係は拓本、書籍、古印、筆墨硯紙も揃っており、書籍に限らず書道用品が並んでいるのが特徴。店内には机と椅子も用意されているので、じっくりと見ることができる。

03-5244-5670
千代田区神田神保町1-1-12 倉田ビル1F



⑫ 玉英堂書店

「玉英堂書店」は希少で優れた貴重な「稀覯本(きこうほん)」の専門店。明治35年(1902)に本郷湯島天神下で古本兼貸本業として開業し、大正15年、神田神保町に移転。そして「オリジナルだけが持ちうる筆跡、装丁、紙質により作家が生きた時代に近づきたい」(店主)との思いで昭和55年、2階に稀覯本と自筆物の「特選ルーム」を開設。室町後期の源氏物語絵巻、良寛の書、司馬遼太郎の肉筆原稿など、文学史・美術史で知る名前がひしめく、密度の濃い光景だ。観覧自由。目録は年3~4回発行。

03-3294-8044
千代田区神田神保町1-1

